

令和 6年度

歳入歳出決算の概要説明

地域振興部

地域振興部 説明要旨

地域振興部長の 赤坂でございます。
どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、決算の概要について、ご説明申し上げます。令和6年度の地域振興部全体の

歳入予算現額は 3億5,563万5,000円
調定額、収入済額は、ともに
3億8,187万1,674円

でございます。

次に、地域振興部全体の

歳出予算現額は 27億3,441万円
支出済額は 26億4,836万4,888円
不用額は 8,604万5,112円

でございます。

不用額の主なものといたしましては、外国人観光客受入環境整備事業及びわかやま移住定住総合戦略事業にかかる執行残でございます。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、その中から主なものについてご説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の23ページをご覧ください。

まず、地域振興課では、「振興局地域づくり支援課題解決促進事業」として、各振興局がそれぞれの地域課題を把握し、地域にあった独自の事業を振興局自らが実施するとともに、多様な視点から地

域課題に向き合い、かつ機動的にきめ細かく地域の取組を伴走支援するため、各振興局で地域おこし協力隊を募集・採用し、振興局の地域支援機能を強化いたしました。

この事業に係る決算額は、5,547万2千円でございます。

また、「わかやま移住定住総合戦略事業」として、都市からの移住・交流を促進するため、都市部でのセミナーや相談会の開催、ホームページやSNS等を活用した情報発信、空き家の改修補助、起業希望者への支援事業などを行いました。

この事業に係る決算額は、1億4,796万円でございます。

次に、24ページをご覧ください。

総合交通政策課では、「地域交通確保維持改善事業」として、地域住民の日常生活の移動手段を確保するため、複数市町村にまたがる広域的・幹線的なバス路線を運行する事業者に補助いたしました。

この事業に係る決算額は、8,504万2千円でございます。

次に、25ページをご覧ください。

「和歌山電鐵貴志川線支援事業」といたしまして、貴志川線が安全に運行を継続するため、和歌山電鐵株式会社が老朽化した設備を整備する費用に対して、和歌山市、紀の川市と共に補助いたしました。

この事業に係る決算額は、2,507万円でございます。

デジタル社会推進課では、「eスポーツわかやま推進プロジェクト事業」として、eスポーツ人口拡大のため、県立高等学校のモデル校において部活動でeスポーツに取り組む環境を整備しました。この事業に係る決算額は、1,463万5千円でございます。

次に、25ページ及び26ページをご覧ください。

観光振興課では、「『聖地リゾート！和歌山』ブランディング事業」において、「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録 20 周年を記念した「聖地リゾート！和歌山」キャンペーンを展開し、世界遺産社寺等での特別企画や「令和の熊野詣」ウォークイベントなどを実施しました。

この事業に係る決算額は、5,861 万円でございます。

また、本県が有する魅力的な観光コンテンツである「世界遺産」「ジオパーク」「アウトドア」「温泉と食」「サイクリング」を柱として、それぞれのテーマに沿ったターゲット層への情報発信の強化や、県内の周遊・滞在期間の延長を促進する様々な施策を実施しました。

これらの事業に係る決算額は、「わかやま『観光力』推進事業」が、1 億 6,943 万 4 千円、「ジオパーク推進事業」が、5,807 万 3 千円、「世界遺産等推進事業」が、2,194 万 7 千円、「『アウトドア観光』推進事業」が、1,769 万 5 千円、「サイクリング王国わかやま事業」が、950 万 5 千円でございます。

次に、26 ページ及び 27 ページをご覧ください。

観光交流課では、インバウンド誘客に向けて、主要市場ごとの嗜好に応じたプロモーション活動を行うとともに、受入環境の整備に取り組んでまいりました。

これらの事業に係る決算額は、「国際観光推進事業」が、前年度繰越分として 2,487 万 9 千円、当年度分として 1 億 610 万円、「外国人観光客受入環境整備事業」が 4,965 万 2 千円、「外国人観光客受入環境高度化事業」が 1,630 万円でございます。

また、「教育旅行誘致推進事業」として、学校関係者、旅行会社等に積極的に働きかけを行った結果、多くの学校に本県で教育旅行を実施していただきました。

この事業に係る決算額は、654 万 5 千円でございます。

以上で、令和6年度の地域振興部の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。